

I. 2004 (H16) 年度第1回事務局会議

日 時：2004 (H16) 年5月7日 (金) 18:00~20:30

場 所：岡山大学環境理工学部赤江研究室

出席者：赤江会長，井上編集委員長，成岡庶務幹事，
諸泉会計幹事，吉迫編集幹事（長谷川副会長
および渡辺庶務幹事は電子メール参加）

議題：

- (1) 第46回シンポジウム開催手順について
 - ・11月13日 (土) 開催にかけての作業手順の確認を行った。
- (2) 評議員選挙の手順について
 - ・評議員選挙の手順について確認を行った。
- (3) 2003 (平成15) 年度決算 (案)，2004 (平成16) 年度予算 (案) について
 - ・持ち回り評議委員会に提出し，秋 (11/13) の評議員会および総会で承認を得ることにした。
 - ・「手当，旅費に関する事務局内規」(2002.8.7改訂) のうち，事務局会議開催に際して必要な旅費支出規定が現状に合わなくなってきたため，庶務幹事が改訂試案を作成することにした。
- (4) 編集委員会関係要項等の検討について
 - ・2003年度投稿原稿の状況報告があった。
 - ・編集関係規定類の改正に関する基本姿勢が示された。
 - ・「土壌の物理性」投稿規定の改正草案が示された。
 - ・「同上」投稿案内の改正草案が示された。
 - ・「同上」原稿執筆要領の改正草案が示された。
- (5) 企画準備委員会 (作業日程，方法など) について
 - ・「土壌の物理性」100号の構成案が示された。
- (6) その他
 - 1) 土壌物理学会賞
 - ・推薦公募について報告があった。
 - 2) 庶務幹事広報担当
 - ・学会ホームページデザイン，活用の仕方について検討内容が示された。
 - ・学会ホームページのサーバーについて説明があった。
 - ・「土壌の物理性」バックナンバー検索システムの復旧について説明があった。
 - ・学生会員ならびに若手研究者の誘致対策について，現在の検討内容が報告された。
 - ・「土壌の物理性」に若手研究者，院生，学生が自由に投稿できる「枠」について現在の検討内容が報告された。
 - 3) 日本学術会議について

- ・4月7日に参院で可決された「日本学術会議法の改正」の概要について説明があった。施行日は，2005 (平成17) 年10月1日，内閣府への移管は2005 (平成17) 年4月1日。
- ・第19期農業総合科学研究連絡委員会では「中山間地と都市のパートナーシップ」(仮題) のテーマでシンポジウムを開催する予定である。開催は2005年6月頃を目処にし，会場候補地として中部・近畿地方があげられた。シンポの講演者候補を6月までに研究連絡委員会 (塩見委員長) へ提出することになった。
- ・「科学者のミスコンダクト」に関する協力要請が日本学術会議よりあった。研究に関する倫理規定であり，データのねつ造，データの偽造，研究の盗用・論文の剽窃 (盗用などした内容を自分が作ったようにみせかける)，プライバシーの侵害，研究資金の流用，論文の二重投稿などが発生しないよう注意するよう案内があった。

II. 2004 (H16) 年度第1回編集委員会

開催形式：電子会議

日 時：質疑応答・討論

2004年5月14日 (金)~5月20日 (木)

採決

2004年5月21日 (金)~5月25日 (火)

出席委員：井上久義 井上光弘 木原康孝 酒井俊典
櫻井克年 佐藤泰一郎 田中宏明 近森秀高
取出伸夫 中尾誠司 中村公人 西村直正
平沢 正 三浦健志 吉川省子 吉田正則 (委員17名中16名参加：成立)

○議事内容

1. 報 告

編集委員会事務局より編集委員会事務局報告がなされ，全会一致で承認された。

2. 議 題

- (1) 編集委員会事務局より提案のあった『『土壌の物理性』第97号編集・発行計画』は原案通り全会一致で可決された。
- (2) 編集委員会事務局より提案のあった「シンポジウム特集 (第99号掲載) の編集様式」は原案通り賛成多数で可決された。

3. その他 (連絡)

次回編集委員会の開催予定について。

4. 質疑応答・討論

「報告」「議題」「その他 (連絡)」に対する質疑応答・

討論を行った。

Ⅲ. 2004 (H16) 年度第2回編集委員会

開催形式：電子会議

日 時：質疑応答・討論

2004年6月18日(金)～6月24日(木)

採決

2004年6月25日(金)～6月29日(火)

出席委員：石黒宗秀 井上久義 井上光弘 木原康孝
酒井俊典 櫻井克年 佐藤泰一郎 田中宏
明 取出伸夫 中尾誠司 中村公人 西村
直正 平沢 正 三浦健志 吉川省子 吉
田正則(委員17名中16名参加：成立)

○議事内容

1. 報告

編集委員会事務局より編集委員会事務局報告がなされ、全会一致で承認された。

2. 議題

(1) 編集委員会事務局より提案のあった『『土壌の物理性』投稿規定(改正案)』は、原案通り全会一致で可決された。同改正案は直近の評議員会へ編集委員会より提案する。

(2) 編集委員会事務局より提案のあった『『土壌の物理性』投稿案内』は、原案通り全会一致で可決された。

(3) 編集委員会事務局より提案のあった『『土壌の物理性』原稿執筆要領』は、原案を一部修正の上、全会一致で可決された。

(4) 編集委員会事務局より提案のあった「改正された編集関係規定類の適用について」は、原案通り全会一致で可決された。

3. その他(連絡)

次回編集委員会の開催予定について。

4. 質疑応答・討論

「報告」「議題」「その他(連絡)」に対する質疑応答・討論を行った。

Ⅳ. 2004 (H16) 年度第2回事務局会議

日 時：2004 (H16) 年8月27日(金) 17:00～

19:30

場 所：岡山大学環境理工学部演習室

出席者：赤江会長、井上編集委員長、成岡庶務幹事(総務)、諸泉会計幹事、吉迫編集幹事、渡辺庶務幹事(広報)(長谷川副会長は電子メール参加)

議題：

(1) 協議事項

- 1) 日本学会事務センター破産に関する対応について
- 2) 評議員選挙に関する諸手続について
- 3) 事務局内規の改定について
- 4) H16年度シンポジウム講演者・座長について
- 5) H15年度決算、H16年度予算企画について
- 6) 次期事務局体制に関する諸準備について
- 7) 学会ホームページの管理について
- 8) H15年度学会賞について

(2) 報告事項

- 1) 編集委員会
- 2) 企画準備委員会
- 3) その他

Ⅴ. 2004 (H16) 年度第1回評議員会

会 場：北海学園大学豊平キャンパス2号館第1会議室

日 時：2004 (H16) 年9月8日(水) 12:15～13:15

出席者：赤江会長、長谷川副会長

評議員：井上、石渡、長澤、安中、藤井、谷山(代 坂西)、溝口、宮崎、清澤、中村、{欠席：波多野(委任状)、加藤(委任状)、足立(委任状)、荻野、石黒(委任状)、吉川(委任状)、堀野(委任状)、筑紫}

事務局：成岡、渡辺、諸泉、吉迫

議 題：

(1) 協議事項

- 1) 日本学会事務センターの破産に関する対応策について
- 2) 評議員選挙に関する諸手続について
- 3) 事務局内規の改定について
- 4) H16年度シンポジウム講演者・座長について
- 5) H15年度決算報告(案)、監査報告、H16年度予算(案)
- 6) 事務局体制を支援する試案について
- 7) H15年度学会賞について

(2) 報告事項

- 1) 編集委員会報告
- 2) 企画準備委員会報告
- 3) 日本学術会議関係

VI. 2003 年度会計収入・支出決算と会計報告

自 2003. 4. 1

至 2004. 3. 31

| 収入の部 | | | | |
|--------|-----------|-----------|-----------|---|
| 項目 | 予算額 | 決算額 | 増減 | 備考 |
| 繰越金 | 5,104,521 | 5,104,521 | 0 | |
| 正会員会費 | 1,900,800 | 2,499,500 | 598,700 | |
| 学生会員会費 | 50,400 | 90,000 | 39,600 | |
| 賛助会費 | 180,000 | 225,000 | 45,000 | |
| 外国会員会費 | 22,000 | 0 | ▲ 22,000 | |
| 出版物売上 | 200,000 | 365,500 | 165,500 | バックナンバー売り上げ |
| 購読会費 | 330,000 | 0 | ▲ 330,000 | 表示科目の変更によりバックナンバー売り上げに含む |
| 雑収入 | 300,000 | 1,125,054 | 825,054 | 69,000 シンポ参加費, 144,000 情報交換会費, 別刷り, 利息, 学術会議協賛金 |
| 合計 | 8,087,721 | 9,409,575 | 1,321,854 | |

▲：収入減

| 支出の部 | | | | |
|-------------|-----------|-----------|-------------|--------------------------|
| 項目 | 予算額 | 決算額 | 増減 | 備考 |
| 会誌製作費 | 2,800,000 | 2,257,025 | ▲ 542,975 | 会誌 V93, 94, 95 号分 |
| 総会, シンポジウム費 | 800,000 | 770,696 | ▲ 29,304 | 部屋使用料, 器具使用料, 要旨印刷, 消耗品等 |
| 通信費 | 150,000 | 49,790 | ▲ 100,210 | |
| 文具費 | 150,000 | 3,801 | ▲ 146,199 | |
| 賃金 | 150,000 | 78,850 | ▲ 71,150 | シンポジウム等アルバイト |
| 交通費 | 500,000 | 245,560 | ▲ 254,440 | |
| 会議費 | 100,000 | 20,000 | ▲ 80,000 | |
| 幹事手当 | 45,000 | 45,000 | 0 | |
| 編集委員会費 | 200,000 | 257,130 | 57,130 | 編集関係通信費, H 14 年度分査読料 |
| 学会賞選考委員会費 | 300,000 | 2,100 | ▲ 297,900 | 賞状, 記念品代 |
| 企画準備委員会費 | 100,000 | 0 | ▲ 100,000 | |
| 選管委員会費 | 0 | 0 | 0 | 2003 年度評議員選挙なし |
| 業務委託費 | 1,000,000 | 680,979 | ▲ 319,021 | |
| 予備費 | 1,792,721 | 20,945 | ▲ 1,771,776 | 送金手数料, 地域農学研究連絡委員会協賛金 |
| 決算額 | 8,087,721 | 4,431,876 | ▲ 3,655,845 | |
| 次年度繰越金 | — | 4,977,699 | — | |
| 合計 | 8,087,721 | 9,409,575 | 1,321,854 | |

▲：支出減

VII. 2004年度会計予算

自 2004.4. 1

至 2005.3.31

| 収入の部 | | |
|--------|-----------|--|
| 項目 | 予算額 | 備 考 |
| 繰越金 | 4,977,699 | |
| 正会員会費 | 1,680,800 | $382 \text{人} \times 5,500 \text{円} \times 0.8 = 2,101,000 \text{円} \times 0.8 = 1,680,800 \text{円}$ |
| 学生会員会費 | 40,800 | $17 \text{人} \times 3,000 \text{円} \times 0.8 = 51,000 \text{円} \times 0.8 = 40,800 \text{円}$ |
| 賛助会費 | 202,500 | $10 \text{社} \times 22,500 \text{円} \times 0.9 = 225,000 \text{円} \times 0.9 = 202,500 \text{円}$ |
| 外国会員会費 | 22,000 | $5 \text{人} \times 5,500 \text{円} \times 0.8 = 27,500 \text{円} \times 0.8 = 22,000 \text{円}$ |
| 出版物売上 | 300,000 | バックナンバー売り上げ, 用語事典売り上げ |
| 雑収入 | 700,000 | 広告料 (75,000), 別刷, 利息等 |
| 合計 | 7,923,799 | |

支出の部

| 項目 | 当年度予算額 | 前年度予算額 | 増 減 | 備 考 |
|-------------|-----------|-----------|-----------|---|
| 会誌製作費 | 3,000,000 | 2,800,000 | 200,000 | 会誌 96, 97, 98, 99 号発行料等 (1号 650部約 70万円) |
| 総会, シンポジウム費 | 800,000 | 800,000 | 0 | 総会, シンポジウム開催費, 評議員会等 |
| 通信費 | 150,000 | 150,000 | 0 | 原稿, 請求書送付料等 |
| 文具費 | 100,000 | 150,000 | ▲ 50,000 | 封筒代等 |
| 賃金 | 150,000 | 150,000 | 0 | 業務, シンポジウム手伝料等 |
| 交通費 | 600,000 | 500,000 | 100,000 | 交通費等 |
| 会議費 | 100,000 | 100,000 | 0 | 事務局会議費 |
| 幹事手当 | 60,000 | 45,000 | 15,000 | 幹事 4 人分 (H16 年度広報幹事 1 名新設) |
| 編集委員会費 | 400,000 | 200,000 | 200,000 | 編集関係通信費, 英文規定作成費等 |
| 広報関連費 | 50,000 | 0 | 50,000 | 院生・学生・若手研究者等への広報活動他 (2004 年度新設) |
| 学会賞選考委員会費 | 100,000 | 300,000 | ▲ 200,000 | 学会賞選考委員会会議費, 賞状・記念品代等 |
| 企画準備委員会費 | 100,000 | 100,000 | 0 | 土壌の物理性 100 号記念号および測定法に関する企画の準備 |
| 選管委員会費 | 300,000 | 0 | 300,000 | 2004 年度評議員選挙 |
| 業務委託費 | 250,000 | 1,000,000 | ▲ 750,000 | 会誌発行業務, 会員管理事務委託費等 |
| 予備費 | 1,763,799 | 1,792,721 | ▲ 28,922 | 学術会議協力金, (財)日本学会事務センターの破産による未回収金等 |
| 合計 | 7,923,799 | 8,087,721 | ▲ 163,922 | |

▲: 当年度減

VIII. 2003年度会計監査報告


土壤物理学会

会長 赤江 剛夫 殿

土壤物理学会

会計監査

金木亮
長野 寛



会計監査報告

2003年度、土壤物理学会会計の収入支出決算書ならびに関係帳簿類について、2004年4月30日に厳正に監査を行った結果、それらの執行は適正であり、提出のとおり相違ないことを確認した。

IX. 評議員会（メール審議）報告

評議員会（メール審議：2004年9月27日事務局発出、回答締切2004年9月30日）において、全会一致で下の通り決した。

1. 土壤物理学会の名義を「後援」団体として使用することを許可する。

名称：Third International Symposium on Contaminated Sediments（第3回汚染堆積土に関する国際シンポジウム）

団体：「第3回汚染堆積土に関する国際シンポジウム」組織委員会・実行委員会

2. 土壤物理学会の名義を「共催」または「後援」団体として使用することを願う。

名称：日本学術会議 土壤・肥料・植物栄養研究連絡委員会主催のシンポジウム

団体：日本学術会議土壤・肥料・植物栄養研究連絡委員会

X. シンポジウムの開催（共催）

シンポジウム「土壤資源の秘めたる可能性と未来—土壤科学からのアプローチ—」

1. 主催：土壤・肥料・植物栄養学研究連絡委員会
2. 共催：(社)日本土壤肥料学会、日本ペドロロジー学会、日本土壤微生物学会、日本土壤動物学会、(社)農業土木学会、土壤物理学会
3. 後援：(独)農業・生物系特定産業技術研究機構、(独)農業環境技術研究所、(財)日本土壤協会、全国農業共同組合連合会（予定）
4. 日時：平成16年11月27日（土）10：00～17：00
5. 会場：東京大学農学部1号館8番教室

（東京都文京区弥生1-1-1）

6. 次第

総合司会 中西友子（土壤・肥料・植物栄養研連委員、東京大学大学院農学生命科学研究科教授）

- 1) 開会の辞：三枝正彦（土壤・肥料・植物栄養研連委員長、東北大学大学院農学研究科教授）
- 2) 国際土壤科学連合（IUSS）の活動と世界的研究動向：犬伏和之（土壤・肥料・植物栄養研連・土壤科学小委員会委員長、千葉大学園芸学部教授）
- 3) 「ペドロジスト」誌に見るわが国のペドロロジー研究の軌跡と将来展望：東 照雄（土壤・肥料・植物栄養研連委員、筑波大学大学院生命環境科学研究科教授）
- 4) 先端的土壤化学とフィールド研究：米林甲陽・山田秀和（京都府立大学大学院農学研究科教授・助教）
- 5) 土壤物理学が拓く未来の物質循環：宮崎 毅（東京大学大学院農学生命科学研究科教授）
- 6) 土壤微生物群集の生態系機能—持続型社会構築への微生物の働きを活かす—：豊田剛己（東京農工大学大学院生物システム応用科学研究科助教）
- 7) 持続的農業生産を支える地域資源循環：藤原俊六郎（神奈川県農業総合研究所・企画調整部長）
- 8) 土壤生態系からの温室効果ガス放出：八木一行（(独)農業環境技術研究所・温室効果ガスチーム長）
- 9) 総論討論：(司会)長谷川功（土壤・肥料・植物栄養研連委員、日本大学生物資源科学部教授）
- 10) 閉会の辞：木村真人（日本土壤肥料学会会長、名古屋大学大学院生命農学研究科教授）

XI. 評議員選挙結果（報告）

平成16年10月6日

土壤物理学会

会長 赤江 剛夫 殿

土壤物理学会

選挙管理委員会委員長 川崎 哲郎



評議員選挙結果（報告）



平成17年3月31日に現在の評議員の任期が満了することに伴い、会則第6条（2）「評議員15名 正会員のの中から選挙によって選出される。」および役員選出規定

(1970年11月18日改訂)に基づいて選挙を実施し、下記の結果となりましたことをご報告いたします。

選挙の方法

- (1) 評議員候補者は会員名簿(2004年版)のうち正会員とした。
- (2) 選挙は郵便投票によった。
- (3) 選挙期日(投票締切日)は、平成16年9月30日(木)(消印有効)とした。
- (4) 会則第6条により、評議員の3期連続の重任は認められないことを明示した。

土壤物理学会評議員選出結果 (2004.9.30投票締切, 2004.10.6開票)

任期: 2005.4.1~2007.3.31

投票総数: 409票

| 地域 | 人数 | 選出者氏名 |
|-----|----|-----------------------------|
| 北海道 | 4 | *石渡輝夫, *長澤徹明, 長谷川周一, *波多野隆介 |
| 東北 | 2 | *安中武幸, 粕淵辰昭 |
| 関東 | 2 | 軽部重太郎, *宮崎毅 |

| | | |
|------|---|---------------------|
| 中部 | 2 | 取出伸夫, 成岡市 |
| 近畿 | 1 | 中村公人 |
| 中・四国 | 3 | *石黒宗秀, *井上久義, *吉川省子 |
| 九州 | 1 | 長裕幸 |
| 会長委嘱 | 3 | (未定) |

注: *印は二期連続選出者。以上の選出者から、会長および副会長が互選された場合は、役員選出規定(3)(ハ)に準拠して入れ替え(繰り上げ当選)を実施する。「会長委嘱」は、今回選挙によらず、未定。

XII. 会員消息(2004年10月22日まで)

退会 正会員 高木 東 (独)農業工学研究所
現在会員数(2004年10月22日現在)

| | |
|-----------|-------------|
| 正会員数(国内) | 399 |
| 同(海外) | 5 |
| 学生会員数 | 17 |
| 賛助会員数 | 10 |
| 小計 | 431 |
| 購読会員数 | 52 |
| 合計 | 483名 |